

2023年10月17日

ジェットスタークルーアソシエーション

執行委員長 木本 薫子 殿

ジェットスター・ジャパン株式会社

人事本部長 森川 秀樹

通知書

法定外休日手当・法内残業・勤務変更に伴う残業代の遡及計算について、以下の通り通知します。

1. 基本的事項

- (1) 休日勤務手当、時間外勤務手当の算定基礎額は、当該手当の対象となる各月の計算時に用いた算定基礎額とする。
- (2) 計算した休日勤務手当、時間外勤務手当の遡及分は、支給月の手当として支給する。
(ただし、給与明細における表示項目名称は別途調整)
- (3) 計算した休日勤務手当、時間外勤務手当の遡及分は、支給月の給与として税金、社会保険料等を計算する。
- (4) 遡及対象期間における年末調整の再実施、住民税額の変更、算定基礎額及び社会保険料の再算定等は実施しない。
- (5) 勤務開始時点における勤務開始時刻・終了時刻を当日の所定労働時間とする。
- (6) 算定基礎額の計算に用いる所定労働時間は、従来通り 162 時間とする。
- (7) 今般の遡及計算において、遅延利息は含まないものとする。
- (8) 週の起点を月曜日から日曜日に変更した上での給与再計算は行わない。
- (9) 今般の遡及計算においては、Rocade から抽出したデータをもとに所定労働時間および実労働時間を算出する。

2. 法定外休日手当

- (1) 法定外休日手当の割増率は 125%とする。
- (2) 今般の遡及計算において、代休取得時の賃金控除は行わないものとする。

3. 法内残業

- (1) 法内残業に伴う時間外勤務手当の割増率は 100%とする。
- (2) 当日の所定労働時間が 8 時間未満であって、かつ実労働時間がそれを上回る場合の超過労働時間の内、法定外残業に該当する労働時間を除く部分を対象とする。

4. 勤務変更に伴う残業

- (1) 勤務開始後に勤務終了時刻が変更された勤務を対象とする。
- (2) 勤務当日の通勤途上において発生した急な勤務変更等については、その状況を確認できる場合に限り柔軟に対応することとし、当事者は当日の状況が分かる記録を提出する。会社は当事者より提出された記録を確認の上、当日の所定労働時間を決定する。

5. その他

上記内容に関する説明として事務折衝を申し入れます。
日時・場所については、調整の上、別途連絡します。

以上